

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	江南市立わかかさ園		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 2日		~ R7年 12月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R7年 12月 2日		~ R7年 12月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園であるため、親も子ども安心して通える	<ul style="list-style-type: none"> その日登園する子どもに合わせ、親も子ども一緒に楽しめる遊びの提供と、安心して過ごせる環境調整を行っている。 親子が一緒にいる環境のもとで、段階を追って親子分離の時間をつくる(子どもは保育士と遊び、親は別室で過ごす) わかかさ園での日々の生活や座談会等を通して、親同士がつながる 	<ul style="list-style-type: none"> 安定した親子関係の中で、徐々に分離時間を増やしていく(保育園、幼稚園への就園に向けて、子どもの様子に合わせて取り組む)
2	一人一人の子どもの発達に合った遊びができる ・体を動かして遊べる広い部屋がある ・部屋数が多い ・療育遊具・玩具が充実している	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの思いを受け止めて、子どもがやりたいことや場所を選んで遊べるようにしている 遊びに少しずつ変化をつけつつ、普段の遊びも保障している 子どもの興味・関心・姿に合わせて環境調整を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児の年齢や発達段階に応じて、玩具の種類や遊び方、スペースづくりを工夫していく 他の施設を見に行き、良いところを取り入れていく
3	自然と触れ合える環境 ・広い園庭(芝生)がある ・畑がある ・隣接する音楽寺の木々から四季折々の恵みがある	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備員とともに職員皆で庭の手入れをしている 子どもの目線に昆虫・魚等の水槽を置いている 花壇には虫が寄ってくる植物を育てている 花を摘んだり畑の中に入ったりして遊んでもよい 子どもの興味・関心に合わせて、イチゴやサツマイモ等畑で育て、収穫まで体験できるようにしている 音楽寺に散歩に出かけている 	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子で通うこと	<ul style="list-style-type: none"> 単独通所の事業所が増えており、親子通園の需要が少ない 親子で通うことに負担を感じる方が多い 他の親子と過ごすことに、つらさを感じる方もいる 市の北部に位置するため、南部に住んでいる方や自転車の方は通いにくい 弁当持参が負担な方もいる 	<ul style="list-style-type: none"> 親子通園の意義を広く伝える工夫をする 保健師との関係づくりに努め、協力を得る 親子分離の時間を確保する 市の中心部への移転
2	施設の老朽化	<ul style="list-style-type: none"> 旧保育園を使用しているため、築年数による劣化がある 大規模な修繕は見込めない 	<ul style="list-style-type: none"> 園運営に支障が出ないよう、必要な修繕は早期に行っていく。 環境づくりとして少しでも快適に過ごせるように、職員でできることを工夫していく
3			